

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和5年度 第2回さぬき市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年3月4日（月）15:00～16:20
開催場所	さぬき市寒川庁舎 多目的ホール
出席者氏名	松原委員、杉浦委員、三谷委員、大西委員、山下委員、原田委員、瀬尾委員、阿部委員、山本委員、岡本委員、朝倉委員、川地委員
欠席者氏名	梅本委員、新開委員
事務局職員氏名	健康福祉部 白井邦部長、教育委員会 佐藤部長、幼保こども園課 酒井課長、 国保・健康課 藤井課長、学校教育課 高西課長、子育て支援課 中川課長、 国保・健康課 白井福、子育て支援課 山本、蓮井
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長の選任について 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) さぬき市こども計画策定に係るアンケート調査の実施について (2) さぬき市内の幼稚園・保育所（園）の状況について 7 その他 8 閉会
配付資料	<p>次第、委員名簿</p> <p>こども基本法に基づく「こども計画」の策定について</p> <p>さぬき市の就学前施設入所・園児数の現状</p> <p>こども大綱、さぬき市子ども・子育て会議条例</p>
その他	

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・委嘱状交付 ・挨拶 ・自己紹介をお願いします。
各委員、事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・（株）ぎょうせい紹介
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・出席者確認 ・会議の公開について（傍聴の申し出なし） ・子ども・子育て会議について ・会長、副会長の選任について、どうしますか。 ・事務局一任の声がありましたが、よろしいですか。 ・それでは、会長に高松大学発達科学部学部長の松原委員、副会長にたらちね保育園の杉浦委員を選任したいと思います。よければ拍手をお願いします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・拍手
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会長は高松大学発達科学部学部長の松原委員、副会長はたらちね保育園の杉浦委員をお願いします。
会長、副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・議題（１）さぬき市こども計画策定に係るアンケート調査の実施について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・経緯説明
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・こども基本法に基づく「こども計画」の策定について、アンケート調査の概要について説明
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等あれば伺いたい。 ・子どもの生活実態調査で小学生は５年生、中学生は２年生を対象に考えているとのことだが、理由を教えてください。
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・まず国の調査がそうであること、次いで他自治体の同様の調査でもそうであることがあります。中学生の場合、１年生は中学生として落ち着いていない、３年生は受験があつて忙しいというのがあると思います。小学生の場合、まず高学年の中からとなり、６年生の方がいろいろと分かっているかもしれませんが、中間である５年生を選んだのではないかと想定しています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・調査は中学生までとのことだが、こどもである高校生が抜けている理由を知りたい。
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活実態調査には高校生がありませんが、市民意識調査では対象を１６歳から２９歳、または１６歳から３９歳まででどうかと検討を進めているところです。高校生はこちらに入りますので、貧困やヤングケアラーといった設問を一部入れて、意識を分析していくことも可能だと思っています。

議事内容（要旨）	
委員	・こどもが18歳までなら、若者はそれ以上になるのか。年齢を書いていてくれると分かる。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3ページにあるように「子ども・若者計画」の対象は小中学生から39歳の間にかかっています。この計画は、まだどこの自治体も作成していないので、国の動向やほかの自治体の調査状況を調べながら、確認していきたいと思っています。 ・先進的に行っている自治体の多くは、大体16歳から29歳、あるいは16歳から39歳を対象にしているようなので、さぬき市でもそのような年齢を対象にはどうかと提案をしているところです。
会長（進行）	・資料5ページこども基本法の第2条に「この法律において「こども」とは、心身の発達の過程にある者をいう」と書かれているように、こどもについて、年齢をあえて区切っていないのが今回の特徴だ。発達心理学上、人間は一生涯発達するので、疑問に思うことはあるが、年齢を法律で区切っていないのが、今の全国的な視野でみたところと関係すると思う。
委員	・16歳から29歳、16歳から39歳という幅がある中で調査する場合、高校生や社会人をはじめとする様々な条件が違い過ぎる。せっきくの調査でどうなのかと思う。
(株)ぎょうせい担当者	・一つの調査票の中で「ここは〇歳の人にお聞きします」といったような、年齢を区切った設問にするという形があります。また集計時に性別等をかけて集計、分析するクロス集計のやり方があります。これから調査について詰めていくので、委員の意見を参考にしたいと思います。
委員	・設問によるので、大変だと思う。
(株)ぎょうせい担当者	・職業についても聞くので、例えば高校生がどのように考えているのかといった分析もできます。分析は、きめ細かくやっていきたいと思います。
会長（進行）	・高校生といえば、就職を意識する年齢だと思う。また、今の平均初婚年齢は女性が29歳と、もうすぐ30歳、男性が31歳くらいなので、年齢区分はそういった部分も考えて設定しているのだと思う。
委員	・こども家庭庁ができ、里親関係のアンケートが12月くらいから来ているようだが、答えるのが大変、心が折れるような内容、育児中で負担が大きいといった声が多かった。回収率が下がらないよう、あまり負担にならないようなアンケートであってほしい。
(株)ぎょうせい担当者	・回答する人の負担は多いです。特に子ども・子育て支援ニーズ調査はかなりボリュームがあるので、必要な項目に絞りながら提案していきたいと思います。

議事内容（要旨）	
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにあれば伺いたい。 ・私も立場上、アンケートに回答することがあり、負担感があるのは分かる。さぬき市で行う調査の設問例に地域社会とのつながりといった言葉もあるので、さぬき市でのニーズを明らかにするために、調査項目を作る一方で、市民意識調査で、例えば未婚の人の理想のこどもの数や、実際どこまで生み育てるのかといった設問は、それぞれの家庭の事情等が関わるので、さぬき市だけでは解決しにくいところもある。 ・私たちは問題を解決しようとするとき、困難なところを探して、そこをつぶそうとするアプローチをすることが多い。しかしせっかくなので、さぬき市で子育てしている人、子育てを終えた人がどういう点に満足しているか、さぬき市で子育てしてよかったという声も拾っていくと、さぬき市に住んでいる保護者の安心や希望につながるポイントがあるかもしれない。将来的に計画にまとめられ、市のホームページ等で広報されるとき、冊子のコラム等で「さぬき市で子育てして、こんなところが私は幸せだった」というのが一つ、二つあると、保護者の心をキャッチするところになるかと思ったが、どうか。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・例えばさぬき市での子育てのしやすさや、子育てしながらさぬき市に住みたいかといったことを問い、その中で「子育てしやすい」と答えた人は、永住したいという人が多いのか少ないのか、反対に「子育てしにくい」と答えた人はどうかといった相関性や、子育てしにくい人の理由は何かといった点も突き詰められたらと思っています。松原会長が話した点も加味しながら考えていきたいと思っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに負担感がありますが、子ども・子育てに関するアンケートということで、興味や関心を持っています。前は小学5年生と中学2年生の全数調査で、学校や保育所、幼稚園から配布してもらい、回収率はほぼ100パーセントだったと思います。また所属のない乳幼児の保護者には郵送で依頼しましたが、かなりの割合で返信してもらいました。今回についても、きちんとした回答が得られると思っています。国が定めているため、質問内容はある程度似たような形ですが、全国的な傾向と比較して、さぬき市ならではの特徴があれば、そこを踏まえて計画に反映させていきたいと思っています。アンケートも報告書もボリュームあるものになるかと思いますが、頑張っって作り上げていきたいと考えています。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにあれば伺いたい。 ・なければ、議題（2）さぬき市内の幼稚園・保育所（園）の状況について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・さぬき市の就学前施設入所・園児数の現状説明

議事内容（要旨）	
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等あれば伺いたい。 ・昨年の出生数は75万人で過去最低だったというニュースがあった。戦後すぐの頃は240万人くらいだったそうで、推定よりも10年早く進んでいる。ほかの市と比べて、さぬき市ならではの特徴的な減り方をしているなどあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そこまでの把握はしていませんが、変わりないと思います。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県の東半分は、深刻な少子化が進行しているので気になった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページの表にある、長尾聖母幼稚園は、かっこの中の数字が園児で、かっこの外の数字がさぬき市の園児ということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み、2ページの表のように、特に公立幼稚園は15年前より75パーセント減っている。さぬき市として、公立幼稚園をこのまま維持するのか。1ページには「地域の実情に応じた持続可能な施設運営を総合的に進めていく」と書いてあるものの、さぬき北幼稚園は閉園という寂しい形になる現実もある。現場の職員も保護者も今後不安がある。民間も経営を頑張っているが、余裕のある園はないように思う。さぬき市として、今後の計画が実在しているのか、これからののか、どうするのか聞きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・さぬき市としては、ここ2年くらいで計画を作ることができたらよいと思っています。 ・きちんとした回答をしにくい問題で、数年来、検討した経緯があります。東かがわ市は、公立をこども園化しました。出生数が少なくなって集団的な教育が図れなくなると、存続が難しくなります。公立幼稚園の園児が少なくなっていることは、第2期計画策定の際もある程度想定していましたが、幼児教育の無償化の影響が大きく、想像以上に減少しました。3歳までに就園しているので、その後あえて幼稚園に変わることはしにくく、3歳以降は利用料金を気にしなくてよいなどの様々な条件のもとで、現状がこうなっているということです。幼稚園を今後どう存続させるか、統廃合を考えていくのかは、機械的にやってしまうわけにいかないの、個々の状況や施設の老朽化等を踏まえながら慎重に議論していきたいと考えています。 ・こども園化については、例えば志度幼稚園は園児が少なくなっていますが、施設にかなり余裕があるので、志度保育所と統合してこども園化という議論はありましたが、今の施設に新たに給食室を建てたいなど、大幅な改修になるので、議論が進んでいるようで進んでいかないことがあります。ここ1、2年で方向性をもう少し出していかないといけないと感じています。会議等で意見を聞き、現場の意見も踏まえて進めていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

議事内容（要旨）	
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none">・ほかになければ、議題については終了した。・全体を通して、意見等あれば伺いたい。・ないようなので、事務局から連絡等はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・今後の予定について
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none">・閉会

以上